

環境、農業、緑化。明日の地球と笑顔のために～

「環境の世紀」「心の時代」と呼ばれる21世紀。地球温暖化の防止と健康長寿社会の充実、先進国日本に生きるすべての人々共通のテーマです。植物学を専攻し、農業を体験し、そしてジャーナリズムの世界で生きてきた山下ようこ。その描く理想は「人間と植物との共存共栄」が実現する世界。自然エネルギーと植物の力を基軸にした政策こそ、地球を救い、国土を守り、人々の尊い命を育むことになる、と訴えます。環境、農業、緑化。明日の地球と笑顔のために～ 山下ようこは皆様とともに前進を続けてまいります。

〈山下ようこの方針の一部を紹介〉

育てよう!! 森林

二酸化炭素を吸って、新鮮な酸素を生み出す植物たち。植物がこの世にいるから人間も生きていける!!森をみんなで育てましょう。かけがえのない地球のために温室効果ガスを削減すると同時に、森の恵みを享受して、生き生き元気に過ごしましょう。山下ようこは森林のセラピー効果に注目。働く世代も第二の人生も、輝く緑と共に生きる。身も心も健康な真に豊かな長寿社会を目指します。

増やそう!! 農地

農地の大規模化はもちろん必要。しかし、もっと大切なのは日本全体の農地面積を増やすこと。耕作放棄地を減らし、肥沃な農地へと生まれ変わらせる。山下ようこは大きな農業だけでなく、市民農園、体験農園、家庭菜園等々、小さな農業の応援団。健康増進、生きがいづくり、コミュニティ形成、そして日本の食料自給率上昇と国防の切り札はここにあり!!と考えます。異業種参入による植物工場の推進も含め、農業が栄える国の構築に、率先して取り組みます。

進めよう!! 緑化

東京都議会議員として、都市緑化推進に全力で取り組んできた山下ようこ。公園、街路樹、屋上など、屋外の緑を増やすことに加え、建物内の緑化推進も重要なテーマであると考えます。植物にはホルムアルデヒドやトルエンなど、人体に有害な化学物質を分解して無毒化する働きあり。OA機器や建築資材から発する化学物質が漂うオフィスの室内。緑化を進め、環境改善。働き盛りの人々の健康維持を図り、日本全体の生産性を高めましょう。

山下ようこプロフィール

元東京都議会議員(青梅市)
アナウンサー、園芸アドバイザー、野菜ソムリエ

- ・1958(昭和33)年11月17日、東京都立川市生まれ。
いぬ年、蠍座、B型。
- ・都立国立高校を経て、千葉大学園芸学部園芸学科卒。
- ・大学卒業後、約20年間、放送局で主にニュースのアナウンサー。
- ・2009(平成21)年7月、東京都議会議員選挙で当選。都議1期。
- ・著書・監修本…『開運★緑化マニュアル』DVD(誠文堂新光社)、『開運花の選び方・育て方』(主婦と生活社)、『花づくりポイントガイド200』(ブティック社・監修)、『初めての寄せ植え』(世界文化社・分著、監修)、『色で楽しむ図鑑500』(日本ヴォーグ社・分著)、『決定版365日の誕生花～花言葉と花占い』(主婦と生活社・分著)他。
- ・趣味…スポーツ。中学時代は卓球部、高校ではバドミントン部。野球観戦、温泉、列車の旅など。
- ・山下ようこのルーツは西多摩…先祖は青梅市御岳山、奥多摩町小丹波、福生市熊川、あきる野市山田など。

〈愛する西多摩のために頑張ります!〉

〈山下ようこの都議会での実績〉

主な役職

総務委員会副委員長

公営企業会計決算特別委員会第二分科会副委員長

防災対策特別委員会理事

主な成果

- ◆ 東京都省エネルギーの推進及びエネルギーの安定的な供給の確保に関する条例の成立に尽力。会派を代表して環境・建設委員会で趣旨説明。都議会21年ぶりの議員立法成立という歴史を刻む。
- ♥ 本会議の一般質問で、小学生への救急救命カリキュラムの導入を訴える。モデルケースとしての実践に至る。
- ♣ 一貫して訴えたオフィスビルでの室内緑化推進。東京都発行の「東京農業振興プラン」に、「室内緑化など新たな利活用を提案する」と明記。ついに東京都の正式文書に室内緑化の文字登場。意義の共有化が実現!!



環境・建設委員会で、防災対策のための洪水予報や橋梁の耐震補強について質問。2010年11月



東日本大震災の被災地へ鉢植えを届ける橋渡し。宮城県気仙沼市内の避難所で、責任者にヒマワリの花を手渡す。2011年5月



水田の保全を訴えるために、自ら田植え。青梅市藤橋で。2011年6月



環境・建設委員会で、省エネ・節電のための条例について都議会会派を代表して趣旨説明。都議会21年ぶりの議員立法成立へ。2011年6月



山下ようこの議会発言がきっかけで実現した小学校での救急救命訓練のモデルケース。青梅市の霞台小学校で。2012年3月